


再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名：一般国道3号 <small>はかた</small> 博多バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 九州地方整備局
起終点：自： <small>ふくおか ひがし しもばる</small> 福岡県福岡市東区下原 至： <small>ふくおか ひがし ふたまたせ</small> 福岡県福岡市東区二又瀬	延長	7.7 km
事業概要 国道3号は、北九州市から福岡市、久留米市、熊本市を經由して、鹿児島市に至る延長約467kmの路線であり、福岡県や九州の骨格路線として、社会・経済・生活を支える重要な路線であり、博多バイパスは福岡市東部地域における延長7.7kmの6車線道路である。		
S43年度事業化	S21年度都市計画決定 (S43年度変更)	S44年度用地着手
S46年度工事着手		
全体事業費	449億円	事業進捗率
		73%
供用済延長	4.5km	
計画交通量	43,900~76,500台/日	
費用対効果 分析結果	B/C： (事業全体) 5.8	総費用： (残事業)/(事業全体) 93/879億円
	(残事業) 5.2	総便益： (残事業)/(事業全体) 484/5098億円
	事業費：82/852億円 維持管理費：10/28億円	基準年： 平成20年
		走行時間短縮便益：415/4210億円 走行経費減少便益：39/669億円 交通事故減少便益：31/220億円
感度分析の結果 ：残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=5.7(交通量+10%) B/C=4.7(交通量-10%) 事業費変動：B/C=4.8(事業費+10%) B/C=5.7(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=5.2(事業期間+20%) B/C=5.4(事業期間-20%)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（並行する国道3号の渋滞損失時間の削減が見込まれる） ・物流効率化の支援（特定重要港湾博多港へのアクセス向上が見込まれる） 他15項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 博多バイパスは、沿線の香椎地区で進められている『香椎副都心区画整理事業』の推進等に重要な役割を果たすことが期待されており、地元自治体から早期整備が望まれている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 人口や事業所、さらには自動車保有台数の増加、物流施設新規立地等のため、沿線地域の交通混雑は年々深刻化している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 博多バイパスは、昭和43年に事業化され、平成15年7月30日に3工区の残区間となっていた約400mが供用するなど、バイパス延長7.7kmのうちの約4.5kmが現在供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成19年度末現在で事業進捗率は約73%であり、そのうち用地進捗率は約90%に達しており、今後も引き続き関係機関と調整を図りながら全線供用に向け整備を促進する。		
施設の構造や工法の変更等 土工バランスに配慮した縦断計画の見直しを行い、切土量を減少させ盛土量を増加させることで建設副産物の発生を抑制させコストを縮減した。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。